

会報



校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞

宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ
友と語らう 今日のよろこび
平和の小鳩 空たかく
ああ あふれる 智恵の泉
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ
友と夢みる 明日のしあわせ
文化の光 野にみちて
ああ きらめく 若き力
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場
日ごといそしむ 愛のまなびや
希望の旅路 雲とおく
ああ はばたく 智恵のつばき
自由の学び舎 八王子学園



ご 挨拶

八王子学園同窓会
会長 濱野 益 男

平素は同窓会の活動に対しご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、本年は、スポーツ、芸術などの分野で在校生の活躍に目覚ましいものがありました。中でも本校野球部が西東京大会決勝戦で東海大菅生高校と対戦、これを打ち破り、創部以来、念願であった「夏の甲子園大会」出場が実現しました。

今回の快挙について、同窓会として役員会で協議の結果、500万円の寄付金の拠出を決定しました。

この他、男子バスケットボール部、東京代表としてウインターカップ及び夏の全国大会に出場。陸上部、全国高校女子駅伝京都大会に出場。水泳部、浅羽菜さんジュニアパンパシフィック・ハワイ大会に出場。吹奏楽部、東京代表として全国大会に出場する等、大変素晴らしい活躍をいたしました。

最近になって、高校同窓会の活躍がどこの高校でも低調になっているという話を聞きます。原因の一端に高校生の進学率、現在ではほぼ100%に近い生徒が大学に進む事になって、高校生活は一つの通過点に過ぎなくなり、高校生活について格別の感慨が薄れてきたのが原因だ、という説。

また一方で、高校、大学と進み就職も出来た、しかし日進月歩、それより早く変化していく社会や技術の中で頑張っている、とても同窓会までは・・とも聞く。

いずれの話の中にあっても、今回の「八王子高校甲子園出場」のニュースは、全国で活躍している35,000人を越える本校卒業生に改めて大きな感動を与えたことと思います。これを機会に学園生活、クラスメイトのことなど思い出して欲しいと思います。八王子学園卒業生としてさらなる活躍を期待しております。

今年の同窓会定期総会を迎えました。定期総会では昨年度の同窓会活動について、また新年度の活動についてご審議いただく年一度の全体会議です。また、会員相互の交流と親睦を図る場でもあります。会員皆様のご参加をお待ちしております。

ご挨拶

学校法人八王子学園

理事長 佐藤 寛文

皆さん今日は。本日は、お忙しいなか 75 年目の同窓会総会にご出席いただきましてありがとうございます。また、同窓会の皆様には常日頃の多大なる物心両面のご支援を心から感謝申し上げます。

今年の夏は、八王子高校の野球部が初めて西東京大会で優勝し全国大会に出場しました。粘り強く力の限り戦った野球部の皆さんが偉業を達成したことを誇りに思っています。在校生、同窓生はじめ多くの方々からご支援とご声援を賜り心から御礼申し上げます。甲子園球場の観客席が満席になる中での応援合戦は迫力があり、伝統校であるがゆえの感動を経験したことは生涯忘れることがない思い出になりました。

本校は平成 29 年に創立 89 周年を迎えます。八王子学園は進学校として認知され、部活動も全国大会で活躍するまでに飛躍を遂げてまいりました。学園モットーである「人格を尊重しよう、平和を心に培おう」を指針として、人間教育の充実を図り、勉強や部活動の更なる発展を目指して、教職員が一丸となって努力して参ります。

八王子学園で最大の学校行事である学園祭は、生徒の明るく元気で活発な準備が学園祭を大いに盛り上げ、生徒たちにとって青春の良き思い出の 1 ページになりました。特に校門のアーチは素晴らしい出来栄えに感動しました。また、吹奏楽部の演奏会やダンス部の発表会は毎年人気を博しています。中学生の研究発表についても、堂々とした発表には感心させられ、将来が楽しみです。

最近のニュースでプロの囲碁棋士が人工頭脳との勝負に負けた報道にショックを受けました。人工頭脳が自ら考えるようにプログラムされているのが特徴です。人工頭脳の発展はあらゆる分野に応用されていく意味では第 4 次産業革命が始まったと言えるでしょう。この波は教育界にも波及し 20 年後には想像もできない姿になると予想されます。唯一変わらないのは友情などの人間関係だと思えます。

直近の大きな課題として少子化問題があります。特に多摩地域の少子化の影響は大きく、加えて八王子学園はマンモス学校であるので少子化の波を乗り越えることは困難であることを想定しておく必要があります。少子化対策を多角的に検討し始める必要に迫られています。教職員の英知を結集して、この波を乗り越える必要があります。痛みが伴うことを受け入れる覚悟も必要でしょう。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝を祈り、末長い母校へのお力添えをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶と本校の現状

八王子学園
八王子中学校・高等学校
校長 小山 貢

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

特に本年夏は、本校野球部が甲子園初出場を果たしました。同窓会からもお志を頂戴し、ありがとうございました。また、多数の同窓会の方が、甲子園にも応援に詰めかけていただき感謝に堪えません。

平成24年度に中学校を開校し5年目を迎え、中学校は9クラス224名、高等学校は40クラス1572名になりました。

創立者市川英作先生の教育理念「人格を尊重しよう・平和を心につちかおう」に基づき、生徒の多様な価値観や将来の希望に合わせて、文理コース（特進クラス・選抜クラス・進学クラス、総合進学コース〈文科系/音楽系/美術系〉）、アスリートコースの3コース・3クラス・3類系を採用しています。生徒がお互いの価値観や多様性を尊重しながらお互いに切磋琢磨し自立を目指す教育活動を推進するとともに、高いレベルでの文武両道を目指しております。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展を祈念いたします。

<今春の大学進学結果>

大学名	合格者数	大学名	合格者数
東京大	1	明治大	38
埼玉大	2	青山学院大	20
お茶の水女大	1	立教大	9
電気通信大	3	中央大	42
東京外国語大	2	法政大	42
東京学芸大	1	MARCH合計	151
首都大東京	2	主要大総計	194
横浜市立大	1		
主要国公立合計	13		
早稲田大	10		
慶應義塾大	4		
上智大	6		
東京理科大	10		
早慶上理合計	30		

定期総会次第

平成28年11月6日(日) 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 校歌「愛の学び舎」斉唱
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 濱野 益 男
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 佐藤 寛 文 殿
八王子学園八王子中学校・高等学校
校長 小 山 貢 殿
- ◇ 議長等の選任 議 長 (高校 回)
書 記 (高校 回)
議事録署名人(2名) 濱野 益 男 (高校4回)
新 井 雅 之 (高校30回)
- ◎ 議 事
 - 平成27年度 事業報告
 - 平成27年度 決算報告
 - 平成27年度 監査報告
 - 平成28年度 事業計画(案)
 - 平成28年度 予算(案)
 - 役員の改選について
 - その他
- ◇ 議長解任
- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

◆ 懇親会(於：富士森会館「海苑」)

平成27年度 事業報告

◎八王子高校野球部が西東京大会で優勝、甲子園へ

八王子高校野球部が7月27日神宮球場での決勝戦で東海大菅生高校と対戦し、本校が優勝。永年の悲願であった甲子園への出場を勝ち取った。

同窓会としては、理事会を急遽開催、協議の結果、500万円の寄付金を拠出した。

◎援助金等の贈呈について

母校在校生の芸術、スポーツ等の部門で優れた活動、成果に対して同窓会の事業の一環として行っている援助金等の贈呈。本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍がありました。本会では、「援助金支給規定」によりこれを顕彰した。

◎同窓会々報の発行

平成27年11月1日 同窓会報第17号を発行した。

◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れたトラベルクロックを贈る。また、「同窓会報」を特別に装丁し、卒業生全員に渡した。

◎会議等の開催と参加


- | | |
|-------------|--|
| 平成27年11月 1日 | 第75回八王子学園同窓会定期総会を母校マルチメディア教室で開催した。総会では、平成26年度事業報告、決算報告及び27年度事業計画及び予算案等を審議、承認した。 |
| | 第二部懇親会を富士森会館「海苑」に会場を移し行った。 |
| 12月12日 | 全国高校女子駅伝京都大会出場壮行会 役員が出席した。 |
| 12月20日 | 男子バスケット部ウインターカップ出場壮行会 役員が出席した。 |
| 平成28年 3月 7日 | 八王子学園八王子高等学校卒業式（オリンパスホール八王子）
同窓会々長より祝辞を贈る。 |
| 3月13日 | 同窓会役員会を開催し、今後の運営等について協議した。 |
| 3月17日 | 八王子学園八王子中学校卒業式 役員が出席した。 |
| 4月 7日 | 八王子学園八王子中学校・高等学校入学式（オリンパスホール八王子） |
| 7月 9日 | 陸上部高校総体出場壮行会 役員が出席した。 |
| 7月17日 | 男子バスケット部全国大会出場壮行会 |
| 7月20日 | 水泳部 浅羽葉ジュニアパンパシフィック大会出場壮行会 |
| 7月27日 | 本校野球部西東京ブロックで優勝、甲子園出場を決める。 |
| 8月 1日 | 同窓会役員会を開催
①総会懇親会の会場予約について
②甲子園出場に際し、同窓会寄付金について協議し500万円と決定した。 |
| 8月11日 | 甲子園、第1試合で宮崎日南高校と対戦、惜敗する。 |
| 9月 9日 | 同窓会役員会を開催、下記について協議する。
①総会懇親会々場について「海苑」に決定
②野球部の甲子園出場に伴う拠出金500万円について（報告）
③同窓会役員の改選について |
| 10月14日 | 平成27年度会計監査の実施 |
| 同日 | 同窓会幹事会を開催、下記について協議する。
①同窓会総会の開催について
②野球部の甲子園出場について
③同窓会役員の改選について |

監査報告書

平成 28 年 11 月 1 日

八王子学園同窓会

会長 濱野 益男 殿

監事 須田 佳津緒 

監事 渡辺 仁 

私共は、八王子学園同窓会の平成 27 年度(第 75 回、平成 27 年 11 月 1 日から、平成 28 年 10 月 31 日まで) 収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

記

八王子学園同窓会の平成 27 年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

平成27年度(第75回) 八王子学園同窓会収支報告

自 平成27年11月 1日

至 平成28年10月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	15,416,934	15,416,934	普通預金(5,402,122円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,297,000	3,276,000	@7,000円×468名
預 金 利 息	800	135,109	普通預金利息、定額郵便貯金一部解約に伴う利息
雑 収 入	70,000	85,000	懇親会参加費(@1,000×85名分)
合 計	18,784,734	18,913,043	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	650,000	603,780	総会々食代(27.11.1、於:富士森会館「海苑」)、他
会 議 費	300,000	177,020	役員会(61,620円)、理事会(32,000円)、三役会(18,900円)、幹事会(64,500円)
印 刷 製 本 費	450,000	418,014	卒業生配布用会報印刷代(210,654円)、総会配布用会報印刷代(178,200円) 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代(29,160円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	110,000	102,160	幹事委嘱状郵送代(3,360円)、幹事会・総会出欠往復ハガキ代(72,800円) 総会開催通知ハガキ代(26,000円)
交 通 費	20,000	25,358	役員交通費(遠方来校者)、タクシー代
援 助 費	2,200,000	2,320,000	クラブ援助金(2,080,000円)、八学杯協賛金(240,000円)
寄 付 金	0	5,000,000	定額郵便貯金を一部解約し、野球部甲子園出場寄付金に拠出
慶 弔 費	50,000	0	
諸 会 費	30,000	0	
記 念 品 費	500,000	453,550	卒業記念品代(トラベルクロック、@¥965税込×470個)
雑 費	100,000	0	
予 備 費	500,000	0	
合 計	5,060,000	9,249,882	
差 引 残 高	13,724,734	9,663,161	次年度繰越金 普通預金(4,648,349円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局)

平成27年度 クラブ援助金等内訳

【クラブ援助金内訳】

吹	奏	楽	部	565,000 円							
書	道		部	50,000 円							
陸	上	競	技	部	540,000 円						
男	子	バ	ス	ケ	ツ	ト	ボ	ー	ル	部	370,000 円
柔		道		部	50,000 円						
水		泳		部	355,000 円						
野		球		部	150,000 円						
			計	2,080,000 円							

【八学杯協賛金内訳】

男	子	バ	ス	ケ	ツ	ト	ボ	ー	ル	部	90,000 円
女	子	バ	ス	ケ	ツ	ト	ボ	ー	ル	部	60,000 円
柔		道		部	90,000 円						
			計	240,000 円							

合計 2,320,000 円

平成28年度 事業計画(案)

例年の同窓会活動を踏襲するとともに、同窓会活動の活性化と効率化を図る活動を進めて参ります。

◎援助金の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施して参ります。

◎同窓会報の発行

同窓会会報第18号を平成28年11月1日に発行します。また3月には新会員用(卒業生用)の会報を作成し、交付する予定です。

◎卒業生に記念品の贈呈

新卒業生に対する記念品の贈呈は、例年の通り本年度も実施の予定です。品物等については、後日、役員会等で協議の上決定します。

◎会議等の開催

三役会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則の検討、会報発行に係わる委員会を開催します。

なお、資料の収集、保管管理について引き続き進めて参ります。

同窓会からのお知らせ

◆平成28年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日時 平成29年11月5日(日) 午後1時より

会場 母校マルチメディア教室

※総会終了後、懇親会を開催いたします(会費1,000円予定)。

平成28年度(第76回) 八王子学園同窓会収支予算(案)

自 平成28年11月 1日
至 平成29年10月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	9,663,161	普通預金(4,648,349円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局)
入会金(終身会費)	3,801,000	@7,000円×543名
預 金 利 息	400	預金利息
雑 収 入	70,000	懇親会々費(@¥1,000)、他
合 計	13,534,561	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	650,000	総会々食代(28.11.6、富士森会館「海苑」)、他
会 議 費	250,000	三役会・役員会・理事会・幹事会等会議費
印 刷 製 本 費	450,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会開催通知及び幹事会・総会出欠往復ハガキ印刷代
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	110,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代
交 通 費	25,000	役員交通費(遠方来校者)、他
援 助 費	2,300,000	各クラブへの援助金、八学杯協賛金、他
慶 弔 費	30,000	
諸 会 費	20,000	
記 念 品 費	550,000	卒業記念品代
雑 費	50,000	
予 備 費	300,000	
合 計	4,885,000	

差 引 残 高	8,649,561	次年度繰越金 普通預金(3,634,749円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局)
---------	-----------	--

思い出の記

—同窓会々員より—



『初めての甲子園の出来ごと』

副会長 根本 明

子供のころ学園の校庭に、垣根を越えて入り、バックネットのコンクリートに向かって一人でピッチングの練習をして遊んだ。この高校にかならず入ってやると誓ってから早や 65 年も経ってしまいましたが、我が高校が関東で優勝して甲子園に行くことになるなんて素晴らしい快挙でした。もちろん今年の野球部の努力だけでは有りません。廻り地区の応援があったからこそだと思います。

私も優勝してすぐに町会長と話して回覧板を廻して寄付金を募る提案し実行に移すことが出来ました。その結果、約 90 万圓以上のお金を寄付することが出来ましたが、これも四丁目の近隣の人達が騒音や色々のことを忘れて喜びにかわった瞬間ではないかと思っています。そのあかしそれだけではなく町内の皆さんが出陣式に旗を振り喜びに湧き見送りに来て下さったことだと思っています。

このことを忘れずに学園の生徒皆様は町内で合った人達には、感謝を込めた挨拶をなさって欲しいと思っています。そして、いつも近隣の人達は何時も生徒に対して愛情と敬意と期待を込めて見守っているのです。

人に挨拶 技に練習 体に管理



援助費支給クラブの活動報告



同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年の夏のご報告ですが、まずは 8/10(水)～15(月)府中の森芸術劇場で行われた『第 56 回東京都高等学校吹奏楽コンクール』にA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。昨年同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A・C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、A組は東京都大会へと駒を進めました。また、C組は昨年度までは中学生の吹奏楽部員も参加していましたが、今年はオーストラリア研修と重なってしまったため、20名全員が高校生のみのメンバーで出場しました。



そして 9/11(日)に行われた『第 56 回東京都吹奏楽コンクール』に出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。この大会は、8月の予選で出場した約 90 校のうち上位 12 校が出演するもので、どの学校も大変素晴らしい演奏を披露しました。本校は、金賞を受賞するも、全国大会出場の枠(上位 3 団体)には漏れてしまいました。後に渡される得点表で確認したところ、4 位であったことがわかりました。昨年以上に良い状態まで持っていかけていると、生徒もまた私自身も感じていたので悔しさを隠し切れませんでした。些細なことが非常に重要になるということ肝に銘じ、また次の大会に向けて練習に励んでいきます。



次に、『第 29 回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が 8/28(日)に有明コロシアムで開催され、本校は高校以上の部に出場しました。高校 7 団体、一般 1 団体の計 8 団体が出場し、本校は金賞、その他に 3 団体が金賞を受賞しました。その 4 つの金賞団体から今年は 2 団体が全国大会出場権を獲得します。結果、今年も全国大会出場権を得ることができ、今年こそ全国大会の舞台上で金賞を受賞できるように精一杯の努力をしようと、強い意志が芽生える大会となりました。

今年は、吹奏楽のコンクールでは全国出場を逃してしまいとても悔しい思いが強く残りますが、その思いをマーチングコンテスト全国大会の大舞台にぶつけていきたいと思っております。今回のマーチングコンテストでは、他校にはあまり表現されないクラシカルな構成となっています。10,000 人の大阪城ホールに木管楽器を中心とした美しいサウンドが響き渡るように、最後まで調整をして金賞受賞を目指します。

また、昨年度末のアンサンブルコンテストは打楽器 8 重奏が東京代表として全国大会に出場することができ、2 年連続で金賞を受賞しました。定期演奏会直前の開催で、なかなか落ち着いた練習時間を確保することが困難でしたが、全国の大舞台では堂々とした演奏を披露してくれました。この他にも、エイベックスから販売されているディズニーの CD 収録や、世界的ファッションデザイナー山本寛斎氏のイベントに出演させていただいたり、数々の素晴らしい経験をさせていただいております。

このように、全国区で活動できるのも日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者全ての方のお陰と心より感謝申し上げます。その他にも、幼稚園や小中学校、大学、市内外からの依頼演奏等、沢山の本番を控えています。一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。

平成 28 年 10 月 1 日

八王子学園八王子中学校八王子高等学校 書道部 平成 27～28 年 活動報告

顧問 安藤和則

コーチ 鈴木希美

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

以下に平成 27 年 10 月から 28 年 9 月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は 19 名(内中学生 2 名)で全員女子です。

- 28 年 3 月に卒業した 3 年生は、大妻女子大、神奈川大、専修大、東海大、フェリス女子学院大にそれぞれ進学しました。
- 27 年 10 月には創玄書道会主催の「第 52 回全国競書大会」に半紙大で出品しました。この展覧会は高校の全学年の芸術書道選択者約 400 名と一緒に参加しました。誌上展ですので展示はなく主催者発行の月刊誌に掲載されました。出品料は 350 円で各自諸経費で徴収しています。書道部の結果は次の通りです。

27 年 10 月 「全国競書大会」

毎日新聞社賞	2-11	瀬尾 有紀
金剛峯寺賞	2-6	仲川 千尋
大会委員長賞	2-3	渡部 沙樹
〃	1-1	小林 紗弓
〃	1-10	先崎 莉子
〃	1-13	蔦木 堇
奨励賞	1-3	坂村 のぞ美
〃	1-5	田平 有佳理
〃	1-5	堀川 佳琳
〃	1-7	中村 眞彩

☆毎日新聞社賞の瀬尾さんは部長として頑張っています。作品は東京目白にある創玄会館に展示されました。

- 27 年 11 月は毎日新聞社主催の「第 24 回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会で、文字通り中国やインドなど海外の高校生も出品しています。全紙大(137 cm×75 cm)または半切大(137 cm×37.5 cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示するので、表装料を同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

27 年 11 月 「書の甲子園」

優秀賞	3-8	徳永 鈴香
秀作賞	2-3	渡部 沙樹

- 28年1月は鷗友書道会主催の「第38回鷗友書道展」に半紙大で出品しました。この展覧会は高校の芸術書道選択者約400名と一緒に参加しました。出品料は350円で、各自諸経費で徴収しています。書道部の結果は次の通りです。

28年1月 「鷗友書道展」

大賞	2-6	仲川 千尋
準大賞	2-11	瀬尾 有紀
会長賞	1-10	先崎 莉子
鷗友書道会賞	1-5	堀川 佳琳
学年優秀賞	中3-3	伊藤 亜海
後援会長賞	1-3	坂村 のぞ美
顧問賞	1-5	渡部 沙樹
太熙賞	1-13	蔦木 董
協賛賞	1-7	中村 眞彩
奨励賞	1-1	小林 紗弓
〃	中3-2	佐々木 雛乃

☆仲川さんの大賞は快挙です。

- 28年3月は「第52回創玄展」と併設している「第52回創玄学生展」に出品しました。高校生は半切大、中学生は半切4分の1大(八つ切り)です。中学生は大展覧会には初の出品でしたが、日頃の練習を良く活かしました。

結果は次の通りです。

28年3月 「創玄学生展」

奨励賞	2-3	渡部 沙樹
〃	2-6	仲川 千尋
〃	2-11	瀬尾 有紀
特選	1-5	堀川 佳琳
〃	1-7	中村 眞彩
〃	1-13	蔦木 董
秀作	1-1	小林 紗弓
〃	1-3	坂村 のぞ美
〃	1-5	田平 有佳理
〃	1-10	先崎 莉子
〃	中3-2	佐々木 雛乃
〃	中3-3	伊藤 亜海



堀川 佳琳



中村 眞彩



葛木 董 ⇒



部分拡大



先崎 莉子



小林 紗弓



田平 有佳理 ⇒



部分拡大



坂村 のぞ美



伊藤 亜海



佐々木 雛乃

- 28年5月は、高野山金剛峯寺主催、毎日新聞社後援の「第51回高野山競書大会」に半紙大の作品を出品しました。この展覧会は書道部のみの出品です。結果は次の通りです。

28年5月「高野山競書大会」

管長賞	3-11	瀬尾 有紀
協会賞	3-3	渡部 沙樹
協会賞	2-11	先崎 莉子
推薦	3-6	仲川 千尋

●写真集



8月蓼科 合宿(女神湖畔にて)



合宿 細字の作品は1枚仕上げるのに6時間!!
抜群の集中力です。530文字に命を!



真夜中もず〜っと書いてます。



11月の「書の甲子園」に出品します。

学園祭

毎年大勢のお客様。ありがとうございます！！



1年生 揃いのTシャツで気持ちを一つに！



2年生 余裕の笑顔！！！！



3年生 達成感の涙は、輝いてました。(*_*)



コーラス部とのコラボレーション ♪♪

感 謝

八王子学園

柔道部監督 川野 昭吾

八王子学園同窓会の方々におかれましては日頃より柔道部に心温まるご厚情を賜りまして、深く感謝申し上げます。

昭和56年、私が日本体育大学を卒業しましてこの八王子学園に奉職し、同時に柔道部の監督となりまして、今年で36年目を迎え残り僅かとなりました指導者人生に悔いを残さない様日々努力いたしているところです。この間も歴代の理事長先生・校長先生をはじめ多くの諸先生方、そして同窓会の諸先輩方にご指導・ご助言を賜りながら歩んで参ることができました。この書面をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。



この36年の間に数多くの教え子達にも恵まれ、現在はその教え子たちはOB会として一致団結の中、陰より私をはじめ柔道部を支えてくれております。

その教え子の中には、昭和60年度卒の小川直也という全日本選手権の連覇等の国内大会のみならずオリンピックや世界選手権で優勝する選手の育成に携わることができ、指導者として最高の幸せを感じております。今でも私の指導者人生の宝物として大切にしております。

また、小川の他にも高校時代に八王子学園の看板を背負ってインターハイや国体、関東大会等で堂々と戦い活躍した教え子達も大勢おり、そのことも指導者冥利に尽きるものであります。

更に2年生ながら東京都重量級のトップ選手として関東大会や金鷲旗全国柔道大会等でも活躍しており、次の東京オリンピックの候補にもなる逸材と言われております戸高竜之介(190cm・125kg)の存在も柔道部にとりましては明るい材料になることかと思えます。

尚、その戸高の父親は小川直也の代のキャプテンの戸高弘喜で高校・大学で選手として活躍した後、現在は町道場で指導者として頑張っております。これも大きな縁を感じております。

また、昨年度の大学日本一を決める全日本学生体重別選手権におきまして、本校平成24年度卒業の藤阪太郎(国士舘大学4年)が見事優勝、大学生チャンピオンとなりました。この快挙は教え子として小川直也に次ぐ偉業で、大変喜ばしいものでした。その藤阪は学生の大会のみならず、全日本の大会でも活躍し国際大会にも数多く派遣され、次の世代を担うホープとして注目を浴びております。うまく成長を遂げることができれば、藤阪・戸高と本校のOBから2名のオリンピック出場選手を輩出することも夢では無いかと大いに期待しております。

現在、このような教え子達を休むことなく日々指導に邁進できている環境やご支援いただいている方々に感謝しつつ、心身共に健全で強固な人間力を兼ね備えた柔道人の育成に尽力したいと考えています。

これからも、今までと変わらぬ精神で日々指導に取り組んで行く所存でおりますので、同窓会の方々には変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、前記の教え子達が、在学中から卒業後に至るまで活躍した足跡を記載しました。スペースの関係で一部しか記載できませんが、教え子達の血と汗と涙の結晶ですので、ご高覧いただければ幸いかと存じます。

【本校在学時、全国規模以上の大会のみ】

昭和	57 年度	日米高校対抗試合	日本71kg級代表	阿部雅人、国際武道大一大成建設
	58 年度	日独高校対抗試合	日本95kg級代表	井上貴史、拓殖大一自営業
	59 年度	若潮杯全国招待試合	団体戦	5 位
	60 年度	金鷲旗争奪全国高校柔道大会	団体戦	9 位
		インターハイ	男子95kg超級	5 位 (小川直也－明治大－格闘家)
		国民体育大会柔道競技	少年男子の部	優 勝 (小川直也－明治大－格闘家)
		全日本ジュニア選手権	95kg超級	5 位 (小川直也－明治大－格闘家)
	62 年度	全国高校柔道選手権大会	女子72kg級	5 位 (川西栄子－国武大－看護師)
	63 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位 (川西栄子－国武大－看護師)
平成	元 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位 (川西栄子－国武大－看護師)
	3 年度	国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江－学芸大－主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	5 位 (野崎琴江－学芸大－主婦)
	4 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	5 位 (野崎琴江－学芸大－主婦)
		インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
		国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江－学芸大－主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	準 優 勝 (野崎琴江－学芸大－主婦)
	5 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	準 優 勝 (野崎琴江－学芸大－主婦)
		インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
		国民体育大会関東ブロック大会		4 位 (野崎琴江－学芸大－主婦)
	6 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	9 位 (小川美奈子－都立短大)
	7 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子中量級	5 位 (小川美奈子－都立短大)
			女子軽量級	9 位 (長岡由紀子－栄養士)
		全国高校柔道選手権大会	女子56kg級	3 回 戦 (小川美奈子－都立短大)
			女子66kg級	2 回 戦 (小林実子－本校事務)
	8 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	5 位 (田中美穂－淑徳短大)
			女子軽量級	5 位 (長岡由紀子－栄養士)
	10 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子軽量級	5 位 (山本良子－桜美林大－主婦)
		全日本ジュニア選手権	女子48kg級	2 回 戦 (館岡美貴－都立短大－主婦)
		全国高校柔道選手権大会	女子48kg級	5 位 (山本良子－桜美林大－主婦)
平成	11 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
			女子軽量級	3 位 (山本良子－桜美林大－主婦)
		全日本ジュニア選手権	女子48kg級	5 位 (山本良子－桜美林大－主婦)
	13 年度	関東高校柔道大会	男子無差別級	5 位 (石倉光彦－横浜桐蔭大)
		全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
		全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
	14 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
	15 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
		全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
	16 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
	17 年度	インターハイ	男子60kg級	3 位 (高橋 治－国際武道大)
		全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	準 優 勝
		国民体育大会柔道競技	少年男子の部	3 位 (高橋 治－国際武道大)

18年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	インターハイ	男子90kg級	出 場 (平山涼二ーセントラル警備)
19年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
20年度	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	優 勝
22年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
23年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	2 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
24年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
	インターハイ	男子60kg級	3 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
25年度	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
27年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	4 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
28年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	4 回 戦
	関東高校柔道大会	男子無差別級	5 位 (戸高竜之介)
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
	金鷲旗争奪全国高校柔道大会	男子団体戦	5 回 戦

【36年間で関東大会以上の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (19回出場)
	男子個人戦 (2回出場)
	女子個人戦 (10回出場、うち準優勝1回、3位2回)
インターハイ	女子団体戦 (2回出場)
	男子個人戦 (4回出場、うち3位1回、5位1回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (2回出場、うち優勝1回、3位1回)
全日本ジュニア選手権	男子個人戦 (1回出場、うち3位1回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (2回出場)
	女子個人戦 (7回出場、うち準優勝1回、5位2回)
全国体育系高校柔道大会	男子団体戦 (9回出場、うち優勝1回、準優勝1回、3位4回)

【36年間で東京都大会の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (3位1回、5位13回)
	男子個人戦 (準優勝2回、3位4回、5位15回)
	女子個人戦 (優勝6回、2位5回、3位5回、5位5回)
インターハイ	男子団体戦 (3位4回、5位15回)
	女子団体戦 (優勝2回、2位1回、3位4回、5位2回)
	男子個人戦 (優勝4回、2位1回、3位26回、5位35回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位11回、5位16回)
	女子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位5回)
学年別団体戦	各学年団体 (準優勝1回、3位10回、5位29回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (3位4回、5位13回)
	男子個人戦 (3位4回、5位5回)
	女子個人戦 (優勝7回、2位13回、3位6回、5位1回)

【卒業後のOBたちの活躍、全国規模以上の大会の戦績のみ】

- ・小川直也(明治大-J R A-格闘家)
全日本柔道選手権大会(連覇を含む多数優勝)、世界柔道選手権大会95kg超級・無差別級(金メダル)
バルセロナオリンピック95kg超級(銀メダル)、他日本のみならず国際級の選手として活躍
- ・倉吉智宏(日本体育大-京葉ガス)
ベトナム国際柔道大会90kg級(銅メダル)、国民体育大会成年の部(千葉県代表、3位)
- ・山本良子(桜美林大-主婦)
講道館杯世界柔道選手権国内選考会女子48kg級(出場)
- ・石倉光彦(横浜桐蔭大-飲食店勤務)
関東学生体重別選手権大会100kg超級(3位)
- ・斉木敏明(山梨学院大-会社員)
関東ジュニア選手権大会73kg級(優勝)、全日本ジュニア選手権大会73kg級(5位)
関東学生体重別選手権大会73kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権大会73kg級(5位)
講道館杯柔道選手権大会73kg級(5位)
- ・古田秀州(國學院大-神奈川県警)
東京学生体重別選手権大会100kg級(3位)、全日本学生体重別団体戦(3位)
全国警察官柔道団体戦出場、講道館杯100kg級出場
全国警察官柔道選手権大会100kg級(優勝、警察日本一に輝く)
- ・高橋 治(国際武道大-千葉県警)
関東ジュニア選手権大会60kg級(3位)、全日本ジュニア選手権大会60kg級(出場)
関東学生体重別選手権大会66kg級(3位)、全日本学生体重別選手権大会66kg級(5位)
- ・平山涼二(セントラル警備-飲食店)
全日本実業団体体重別選手権大会無差別級(3位)
- ・野村優貴(国際武道大-川越刑務所)
全日本学生体重別団体戦(5位)、関東学生体重別団体戦(3位)
- ・有田竜之介(国際武道大学)
香港国際柔道選手権66kg級(金メダル)、関東学生体重別選手権66kg級(優勝)
関東ジュニア選手権66kg級(準優勝)、講道館杯66kg級出場、全日本学生体重別団体戦(3位)
- ・藤阪太郎(国士舘大学)
全日本学生体重別団体戦(3位)、全国体育系大学66kg級(準優勝)
東京学生体重別選手権66kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権66kg級(優勝、学生日本一に輝く)
講道館杯66kg級出場

毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や激励金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

昨年度の駅伝、女子においては都駅伝で優勝し、4年連続11回目の全国大会出場を果たすことができました。師走の都大路では15位以内を目標にしていたが、残



念ながら25位と目標には届きませんでした。しかし、今持っている力は発揮できたのではないかと思います。

また、今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合5位、女子は3位という結果を残しました。この都大会の結果、東京の駒沢競技場で行われた関東大会には多人数の出場となりました。関東大会では男子8名、女子9名が6位内に入賞し、17名が7月29日から8月2日まで岡山シティライトスタジアム行われたインターハイに出場することが出来ました。インターハイでは男子走幅跳で優勝、男子4x100mRで5位と複数種目で入賞することができました。他の種目では、決勝まであと一步の所で涙をのみましたが、有望な1、2年生が多くいるので、来年は今年より多く入賞することを目標としていきたいと思います。また、男子走幅跳において7月にポーランドで行われたU20世界陸上競技選手権の日本代表に選出され、10位という結果を残しました。

現在、短距離、跳躍、投擲においては、都新人大会（9月22、24、25日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者においては、10月に群馬で行われる関東選抜新人大会に出場でき、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、駅伝では、11月3日に行われる都駅伝で、男子においては入賞、女子においては5連覇をめざし、関東大会、全国大会出場を目標に練習に励んでいます。

去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思います。今後とも応援の程よろしくお願い致します。

【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校
男子バスケットボール部
顧問 石川 淳一

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度前半、我が部は関東大会並びにインターハイに出場することができました。目標を掲げながら、チーム一丸となって戦い、関東大会東京都予選においては4年連続優勝を果たし、関東大会に駒を進めました。



同大会では1回戦、西武文理高校（埼玉）と対戦し、本校エースが怪我の為ベンチスタートとなり、前半23点のビハインドで折り返しました。後半エースをコートに戻すも前半の勢いがある相手を簡単には抑えることが出来ず、一時は30点以上差をつけられましたが、終盤2点差に追い詰め攻防が続くも逆転できず80-86で敗退しました。

インターハイ東京都予選も順当に勝ち進み、決勝リーグは実践学園高校、保善高校、國大久我山高校とのリーグ戦となりました。結果は3勝全勝で5年連続優勝し、12年連続インターハイ出場を果たしました。

インターハイでは、1回戦広島皆実高校（広島）に92-53で勝利。2回戦北陸高校（福井）に79-59で勝利。3回戦、今大会優勝候補の1校であり、コンゴからの留学生を擁する東山高校（京都）と対戦。前半激しい攻防を繰り広げ、互いに譲らない展開になるも、相手のオフェンスが機能し10点ビハインドで終了。後半に入り、攻め手に苦戦し、また、ファールトラブルで退場者が出てしまい85-59で敗退。結果ベスト16で終わりました。

なお、本校より国民体育大会関東ブロック東京代表に4名が選出されるなど（3年：根本君、オト君、勝田君、黒谷君）、本校の選手が全国レベルにおいても高い評価を受けるに至っております。

今後は11月より始まる高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ12年連続16回出場、関東大会17年連続18回出場を果たすものの、未だ強豪チームとは言い難く、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思っております。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。

八王子学園八王子高等学校
女子バスケットボール部
顧問 宮内 慶喜

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、女子バスケットボール部活動の様子をご報告いたします。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。

◇女子バスケットボール部の紹介

八王子学園八王子中学校・高等学校女子バスケットボール部は『心をひとつに』をモットーにインターハイ出場を目指し、毎日練習を重ねています。是非、声援をお願い致します。

※チームニックネーム『superbees』（蜂のようにうるさいディフェンスを目指します）

◇本校高校女子バスケットボール部も新1年生が10名入部し、2年生が10名、3年生が9名の総勢29名の大所帯になりました。みんな関東大会本大会出場、そしてインターハイ出場を目指して頑張っています。是非応援よろしくお願ひします。

◇昨年度関東大会出場！

5/5・5/6に実施された、東京都女子バスケットボール関東大会東京都予選において第8位となり山梨県富士吉田市で実施された第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会へ11年ぶり5回目の出場を決めました。

6/6に実施された本大会では、埼玉代表の昌平高等学校と対戦し71-89で一回戦敗退となりました。対戦相手は準優勝を果たす強豪でしたが、いわゆるスポーツ推薦がない当部にとってはよく頑張れた結果だと思ひます。

◇八王子市内大会優勝

春季・秋季の年二回開催される八王子市内女子バスケットボール大会では、出場18チーム中10年に渡り春季・秋季とも優勝を重ねています。今秋も10/1・2に実施された秋季大会では、ぶっちぎりでの優勝を果たしました。

◇新人戦大会始まる

今年度のチームは、現在東京都で8位(ベスト8)のランキングに位置しています。11/3より始まる新人戦大会では東京都ベスト4を目指して頑張ります。本校はシードのために1/8より出場します。応援よろしくお願ひいたします。



2016年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部顧問 前田 彩子

2015年9月1日の始業式から現在の2年生と3年生の新たなチームで活動を開始し、その月の下旬に行われた東京都高等学校新人水泳競技大会では、新チームとしての初めての試合に臨みました。

男女の新キャプテンのもと、個人の自己新記録更新は勿論、チームとして準備・応援・レースをし、全員が少しでもチームに貢献出来るよう一生懸命取り組みました。この試合の結果は、団体が男子・女子、総合優勝をしました。

2016年4月男子7名・女子9名の新入部員を迎え、男子20名・女子21名の41名で1年生から3年生まで揃ったチームがスタートしました。昨年度から水泳部の監督の安芸が退職して日頃は学校にいない中水泳部の活動が始まりましたが、3年生を中心に全体でまとまったチームになれるように何度もミーティングを重ね、



各大会に臨みました。5月のGW合宿では2年生が中心となって後輩の指導をしますが、これから始まる大会に向けて1年生と2年生の絆も強まり新たな目標を得ることが出来ました。

今年度の目標も昨年同様、東京都高体連が主催する3大会で男子・女子、団体が総合優勝とインターハイのリレー種目、男子3種目・女子2種目決勝進出を掲げました。

4月4日～10日、日本最高峰の試合・第92回日本選手権水泳競技大会（リオオリンピック選考会）に2年14組の奈須田ゆうかと1年13組の浅羽葉が200m平泳ぎに出場しました。

5月20日～22日、日本水泳連盟主催のジャパンオープンに2年14組の奈須田ゆうかと1年13組の浅羽葉が100m、200m平泳ぎに出場し、1年13組の浅羽葉が200m平泳ぎで5位入賞をしました。この大会の結果、浅羽葉はハワイのマウイで行われるジュニアパンパシフィック大会の出場が決まりました。この壮行会も同窓会の皆様からの沢山のご援助を頂き、無事に行うことができました。

6月25・26日、東京都高等学校選手権水泳競技大会・兼関東高等学校選手権水泳競技大会予選が東京辰巳国際水泳場で行われました。4月に掲げた男子・女子団体優勝は果たせませんでした。この大会の結果、関東大会には男女合わせて24名の選手が出場権を得ることができました。

7月23日～25日に茨城県笠松運動公園屋内プールにて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選（インターハイ予選）が行われました。その結果、男子10名・女子12名、合計22名の選手がインターハイの出場権を得ました。全国でも参加人数は2・3番目に多い学校となっています。

8月17日～20日に全国高等学校総合体育大会が広島県広島市総合屋内プールにて行われました。結果、1年13組の浅羽葉が女子100m平泳ぎで3位、女子200m平泳ぎで優勝しました。また3年12組の熊谷笑里が女子100m自由形で6位、2年14組奈須田ゆうかが女子100m平泳ぎで8位でした。リレーでは女子400mメドレーリレーで6位という結果でした。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合からインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体選手が選考されましたが、本校から3年12組の熊谷笑里、2年14組の本間尚輝と1年13組の浅羽栞以上3名が東京都代表選手と選考されました。結果は、3年12組の熊谷笑里が少年A400mリレー（第2泳者）1位、2年14組の本間尚輝が少年A400mメドレーリレー（第3泳者）第3位、1年13組の浅羽栞が少年A200m平泳ぎ2位・少年A400mメドレーリレー（第2泳者）第2位で、東京都に貢献出来ました。

8月25日に行われました三多摩大会では、今年も男女総合優勝を果たすことが出来ました。これで男子は45連覇になります。

2016年度のチームはこの大会をもって終了し、2016年度の男女の新キャプテンに9月引き継がれました。

9月17日・18日に新チームのもとで行われました新人戦では、男子総合優勝、女子総合優勝に加え、男子200mメドレーリレーでは、7年ぶりに東京都高校新記録を更新致しました。

本校水泳部のチーム作りは「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、指導をしています。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、結果に繋がります。今年度のチームは3年生の人数が少なくまとめるのに苦労をしたようですが、全体で何度もミーティングを重ね、協力して頑張り、水泳部の伝統づくりに貢献してくれました。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。2017年度に向け気持ちを引き締め、来年度は東京都で男女総合優勝できるよう頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。



甲子園“1勝”をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしており、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。とくに今年の夏は、第98回全国高校野球選手権大会西東京大会を制して、悲願であった甲子園出場が叶いました。甲子園出場に際しましては、物心両面にわたり貴会からの多大なるご支援とご声援を賜り誠に有難うございました。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をさせていただきます。

昨年夏の全国高校野球選手権大会西東京大会準々決勝で、早稲田実に5対1で敗退してから約2か月が経った9月、新チームの公式戦が、平成27年度秋季東京都大会一次予選(ブロック予選)から始まりました。1回戦の相手は城東です。

1回表に2本の二塁打などで2点を先制され、2回裏一死一塁から6番打者山口駿(2年)の三塁打で1点を返す。しかし、先発ピッチャーの早乙女大輝(1年)がピリッとせず、4回表に1点を失って降板しました。リリーフした米原大地(1年)も5回表に連続四球を与えて降板、急きょリリーフした奥村

天(2年)もライト前ヒットとセンターへの犠牲フライを打たれて2点を失う。5回裏一死一、二塁から2番打者竹中裕貴のレフトオーバーの二塁打で2点を返す。6回以降ピッチャー奥村は相手打線をノーヒットに抑え、味方のさらなる反撃を待つが、6回以降5三振にヒットはたったの1本と打線は振るわず、結果3対5で敗れて予選を突破することができず、6年前から続いていた本大会出場が途切れてしまいました。まだまだチームとしては未完成であり、覇気がなく、投打のバランスも悪く、ここぞという時に力を発揮できない、とても戦いに勝てる集団にはなっていないことが証明された試合でした。

年が変わり、平成28年になりました。長いオフシーズンを過ごしてチームがどのくらい変わったのかを試す公式戦、平成28年度春季東京都大会一次予選が3月中旬から始まりました。昨年度の秋季東京都大会一次予選を初戦で敗退したため、一次予選からの出場となりました。初戦の相手は本郷です。昨年秋の悔しい敗戦からチームがどのように変わったのかを見る試合でもあります。2回表に1点を先制されましたが、その裏、相手の連続エラーなどでチャンスを得て、二死一、二塁から1番山口駿(3年)のライトオーバーの二塁打で2点を取り逆転、さらに3回裏、打者一巡13人の攻撃で一気に大量8点を取って10対1、試合の主導権を完全に握って5回裏、一死から4番小野田直道(3年)のライトオーバーの三塁打でチャンスを作り、次打者主将の川越龍(3年)のサードゴロで代走加藤大翔(2年)がホームインして11対1、5回コールド勝ちをおさめて本大会出場のかかるB代表決定戦へ駒を進めました。

本大会出場のかかるB代表決定戦の相手は清瀬です。前の試合と同じように2回表に1点を先制され



ましたが、その裏二死三塁から相手ピッチャーの暴投で1点を取って同点にし、3回裏無死一、二塁から2本の二塁打などで4点を取り5対1、試合の主導権を握りました。先発ピッチャー村田将輝(2年)は3回以降相手打者を散発2安打に抑えました。5回裏に1点を追加し、7回裏には2本の三塁打などで2点を取り8対1とし、7回コールド勝ちをおさめ本大会出場を決めました。一次予選の2試合を見る限り、チームは昨年秋のチームよりもひと回りもふた回りもたくましくなり、戦いに勝つ集団に変わったと確信しました。

月が変わって4月、春季大会本大会が始まりました。1回戦の相手は、東京実業です。1回表、相手ピッチャーの立ち上がり打者一巡10人で攻めて、早々に5点を取り先制し、2回表に1点、3回表に4点を追加し10対0とし、試合の主導権を完全に握りました。先発ピッチャー早乙女大輝(2年)は、立ち上がりはまあまあの出来でしたが、5回までに2本の二塁打を含む8安打を打たれて3点を失い、不安定さが露呈した内容でしたが、攻撃陣は相手のエラーにも乗じて、盗塁、送りバント、進塁打、二塁打1本、三塁打2本を放つなど多彩な攻撃を見せ、楽しくておもしろい試合を見ることが出来ました。結果、13対3の5回コールド勝ちをおさめて、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は堀越です。前日の雨で、日程を変更して行われました。3回表に1点を先制されたことで目が覚めたのか、その裏の攻撃は、竹中裕貴(3年)のレフトオーバーの二塁打で始まり、3番打者保條友義の左中間を破る二塁打で1点を取って同点とし、4番打者小野田直道(3年)がライト前にヒットを打ってつなぎ、一死一、三塁から6番打者佐藤天寅(3年)がセンターオーバーの三塁打を放って2点を取り逆転、8番打者細野悠(3年)のスライズでさらに1点を追加し4対1とし、試合の主導権を握りました。7回裏には、4回からリリーフしたピッチャー早乙女大輝(2年)のレフト前ヒットで1点を追加し、結果、5対1で勝利し3回戦へ駒を進めました。

3回戦の相手は明中八王子です。前日の雨で、日程と球場が変更されて行われました。1回裏一死三塁から3番打者椎原峻(3年)のレフト前ヒットで1点を取り、続く4番打者小野田直道(3年)の左越え本塁打で、この回3点を先制しました。3回表に1点を返されますが、その裏に椎原のタイムリーヒットで1点を加え、4回裏には打線がつながり一気に4点を取って8対1とし、試合の主導権を完全に握りました。5回裏に1点を加えて、結果9対1の7回コールド勝ちをおさめ、4回戦へ駒を進めました。この試合の先発ピッチャー早乙女大輝(2年)は、7回を完投し、相手打線を被安打2、4奪三振、1失点と抑え、投げるごとに安定したピッチングが出来るようになってきました。

4回戦の相手は聖パウロです。聖パウロとは毎年8月上旬に行う八王子リーグ(練習試合)で何回も対戦しており、互いの手の内を知り尽くしている同士の対戦になりました。先発したピッチャー奥村天(3年)は初回から一死満塁のピンチを迎えましたが、併殺打で切り抜けました。続く2回は一死一、二塁から相手9番打者にセンター前ヒットを打たれ1点を失い降板、リリーフした早乙女大輝(2年)が続く1番打者を併殺打に打ち取りこの回を抑えました。5回表、ピッチャー早乙女は一死から相手打線につかまり3連続安打され、相手3番打者にセンターオーバーの三塁打を放たれて2点を失い0対3となりました。攻撃陣は5回までノーヒットと相手ピッチャーに抑えられ、試合の主導権は相手が握っていました。6回裏、連続四球などで無死満塁とし、2番打者竹中裕貴(3年)のこの試合チーム初ヒットとなるセンター前ヒットで1点を返し、続く3番打者椎原峻(3年)の併殺打の間に三塁走者が生還し2対3としました。ピッチャー早乙女は6回以降、本来の粘り強いピッチングを取り戻して相手打線を無得点に抑えました。1点ビハインドで迎えた9回裏、聖パウロに負けたくないという執念なのか、この回打線がつながりました。一死から途中出場の主将川越龍(3年)がレフト前ヒットで出塁し、6番打者佐藤天寅(3年)のサードゴロで二塁はアウト、続く7番打者櫻井陸朗(2年)のレフト前ヒットで二死一、二

塁となりました。ここで代打に神澤俊介(3年)を起用、神澤は期待に応えてレフト前にヒットを打ち、二塁走者の佐藤が生還し同点に追いつきました。続く打者はピッチャー早乙女です。初球をレフト前に流し打ち、三塁走者櫻井が生還し、4対3のサヨナラ勝ちをおさめ、準々決勝へ駒を進めました。この試合は、最後まで試合を諦めない粘り強いチームになってきたことを証明する試合でもありました。

準々決勝の相手は強豪校の二松学舎大附です。4回までお互いにチャンスが作れず、投手戦が続きました。5回表、5番打者主将の川越龍(3年)の内野安打でチャンスをつかみ、二死二塁から8番打者細野悠(3年)のショートへの内野安打の間に二塁走者川越が生還し1点を先制しました。7回表、相手投手の制球が乱れ出し、三四球などで二死満塁のチャンスをつかみましたが、9番打者ピッチャーの早乙女大輝(2年)の打球は、相手一塁手正面へのゴロとなりスリーアウトチェンジ、チャンスをもにすることは出来ませんでした。その裏、6回まで好投をみせていたピッチャー早乙女も先頭打者に四球を与えて出塁を許してしまいました。二死一、三塁から相手5番打者に右中間にタイムリーヒットを打たれて同点に追いつかれてしまいました。以降、お互い決定打が出ず、試合は1対1のまま延長戦に突入しました。10回表、二死二塁のチャンスをつかみましたが、途中出場の神澤俊介(3年)の打球はセカンドへのゴロとなり、チャンスをもにすることは出来ませんでした。その裏、一死から8番打者が四球を選び出塁すると、次打者がサードへの内野安打でつなぎ、続く1番バッターは、センターオーバーの二塁打を放ち、二塁走者が生還してゲームセット。結果、1対2のサヨナラ負けを喫してしまいました。この試合、少ないチャンスをもにしたか、ものにできなかったかで明暗を分けた試合であり、さらに勝ち進むためにはここぞのヒット1本が打てる勝負強さも必要であることを思い知らされた試合でもありました。この試合に敗れはしたものの、強豪校を相手にして互角に戦えたことは、今のチームにとって大きな収穫になったことに違いありません。

7月2日、第98回全国高等学校野球選手権大会東・西東京大会開会式が行われて、夏の大会が始まりました。今年度の春季大会本大会でベスト8に入り、西東京大会では第2シードになったため、3回戦が初戦になりました。初戦の相手は田無です。1回裏、相手ピッチャーの立ち上がりを3安打、4四死球、2盗塁などで攻めて3点を先制し、4回裏も打線がつながり、5番打者小野田直道(3年)の二塁打や6番打者で主将の川越龍(3年)の三塁打などで3点を取り、この試合の主導権を握りました。先発ピッチャー早乙女大輝(2年)は、5回表に2本の二塁打を放たれて1点を失ったものの、7回を被安打4、奪三振5、無四球と相手打線を抑えました。結果、8対1の8回コールドで勝ちをおさめ、4回戦へ駒を進めました。

4回戦の相手は町田です。1回表一死一、二塁から4番打者保條友義(3年)の右中間を破る二塁打で2点を先制しました。その後試合は膠着状態になりましたが、6回表一死から、4番打者小野田直道(3年)の左中間を破る二塁打で打線に火がつき、続く川越龍(3年)のレフト前ヒットで一、三塁とし、7番打者石塚冬汰のレフト前ヒットで1点を取りました。さらに8番打者細野悠(3年)の死球で満塁とし、続く9番打者でピッチャーの奥村天(3年)のレフト前ヒット、2番打者竹中裕貴(3年)のセンターオーバーの三塁打などで5点を追加し8対0、この試合の主導権を完全に握りました。投げてはピッチャー奥村が相手打線を2安打に抑えて完封しました。結果、7回コールド勝ちをおさめ、5回戦へ駒を進めました。

5回戦の相手は、今年度春季大会本大会3回戦で対戦し勝利した明中八王子です。2回表、この回先頭打者の6番川越龍(3年)がレフトスタンドへ本塁打を放ち1点を先制しました。4回表一死から2つの死球と内野安打で満塁のチャンスをつくると、8番打者細野悠(3年)がスクイズ。これを処理した相手ピッチャーが一塁へ暴投、一気に三人の走者が生還して3点を追加し、この試合の主導権を握りまし

た。7回表、打線がつながり打者一巡11人で攻め立て、相手守備陣の失策などもあり一気に6点を追加しました。先発したピッチャー早乙女大輝(2年)は、7回裏に相手7番打者にレフトオーバーの三塁打を放たれて1点を失いましたが、要所を締める安定したピッチングを展開しました。結果、10対1の7回コールド勝ちをおさめ、準々決勝へ駒を進めました。舞台を神宮球場に変えての戦いが始まっていきます。

準々決勝の相手は、昨年夏の大会も準々決勝で対戦し敗れてしまった強豪校の早稲田実です。4回まで互いにチャンスは作るがそれをものにできない試合展開で進みました。試合が動き出したのは5回表、二死一塁の場面で相手好打者清宮幸太郎(2年)に打順が回りました。前の打席で二塁打を放っているのので、ここは敬遠気味に四球で歩かせて勝負はしませんでしたが、続く4番打者にセンターオーバーの二塁打を放たれ2点を先制されてしまいました。その裏、この回先頭打者の8番細野悠(3年)が死球で出塁すると、満を持していたかのように反撃が始まりました。9番打者のピッチャー早乙女大輝(2年)のバントを捕球した相手キャッチャーが一塁へ暴投して、無死二、三塁のチャンスを得ました。ここで途中出場に加藤大翔(2年)が四球を選んで満塁とすると、相手ベンチが動き先発ピッチャーを交代させました。その代わり端を2番打者竹中裕貴(3年)が左中間を破る二塁打を放ち2点を取って同点、さらに3番打者椎原峻(3年)のレフト前ヒット、4番打者保條友義(3年)犠牲フライ、6番打者川越龍(3年)の左中間を破る二塁打とたたみかけ3点を加えて5対2としました。さらに6回裏二死満塁から3番打者椎原が死球で押し出しの1点を追加しました。7回を終えて6対2、あとアウト6つで勝利がちらつきだした8回表、早稲田実が反撃して1点を返されました。さらに9回表、連続ヒットで無死一、二塁のピンチを迎え、ここで好投してきた早乙女から米原大地(2年)にスイッチ。緊張感あふれる場面で2番打者をショートゴロに抑えて一死一、三塁、打順は3番清宮。ここで一発が出れば同点にされてしまう大ピンチを迎えました。清宮は初球を振りぬき打球はライトスタンドの方向へ飛んで行きましたが、米原の球威が勝ったのか大飛球は失速して右翼手のグローブに収まりました。犠牲フライとなり1点を返されましたが、ピッチャー米原は次打者をサードゴロに抑えてゲームセット。結果6対4で勝利し、昨年のリベンジを果たして準決勝へ駒を進めました。準決勝の相手は強豪校の創価です。1回表の二死一、二塁という相手の攻撃をしのぎその裏、一死から2番打者竹中裕貴(3年)がセンター前ヒットで出塁すると、3番打者椎原峻(3年)が送りバントを決め、4番打者の保條友義(3年)のレフトフェンス直撃の二塁打で生還し1点を先制しました。2回裏、この回先頭打者の7番石塚冬汰(3年)がライト前ヒットで出塁すると、相手ピッチャーが交代、二死三塁で1番打者山口駿(3年)が左中間を破る三塁打を放ち1点を追加しました。さらに2番打者竹中のレフト前ヒットでもう1点を追加し3対0としました。しかし、3回表二死から先発ピッチャー早乙女大輝(2年)が相手打線につかまり、3者連続ヒットで1点を失い、さらにレフト線への二塁打と内野安打で2点を失って同点に追いつかれてしまいました。その裏、この回先頭打者の4番保條が内野安打で出塁すると、2本のヒットなどで2点を取り5対3としました。5回表に1点を入れられるとその裏、4番打者保條と5番打者小野田直道(3年)の連続二塁打で1点を返し6対4と突き放しましたが、粘り強い創価は、先発ピッチャー早乙女をリリーフした米原大地(2年)を攻め6回、7回に1点ずつ入れて6対6の同点にしました。選手たちは、好打者清宮擁する早稲田実業を破ったことが大きな自信となったのか、2度同点に追いつかれても動じることなく、その裏、この回先頭打者の3番椎原のライト線への二塁打で出塁すると、続く4番打者保條のレフト前ヒットで生還して1点を加えて突き放しにかかります。さらに8回裏にもピッチャー米原の内野安打で1点を取って2点差とし、9回表をその米原が3人をピシヤリと抑えてゲームセット。結果、8対6で粘る創価に勝利し、9年ぶり3度目の決勝進出を決めました。

決勝の相手は、3年連続決勝進出している強豪校の東海大菅生です。1回表、一死から相手ピッチャーが乱れて連続四死球でチャンスを得ると、二死一、三塁から5番打者小野田直道(3年)のセンター前ヒットで1点を先制、続く2回表に1点を加え、3回表には一死から4番打者保條友義がセンター前ヒットで出塁すると、5番打者小野田が送りバントを決め、6番打者で主将の川越龍(3年)のレフトオーバーの二塁打で生還して3対0とし、序盤で3点リードしました。3回裏二死から相手9番打者に三塁打を放たれ、1番打者のセンター前ヒットで1点を返されました。5回裏、この回先頭打者の相手ピッチャーがレフトフェンス直撃の二塁打で出塁、一死三塁から8番打者のレフト前ヒットで1点、続く前の打席で三塁打を放っている打者に左中間を破る二塁打を放たれてさらに1点を加えて3対3の同点に追いつかれてしまいました。ここで先発ピッチャー早乙女大輝(2年)から米原大地(2年)にスイッチ、後続を抑えました。その後もピッチャー米原は四球を与えたり、ヒットを打たれたりして出塁を許すも、後続を断って無得点に抑える好リリーフをみせました。7回表、2本のヒットと四球で無死満塁のチャンスを迎えましたが、三振やライトへのフライなどスリーアウトとなり、絶好のチャンスを生かすことが出来ませんでした。この時、試合の流れが変わってしまうという嫌な気配が漂いましたが、8回、9回と互いのピッチャーが踏ん張り、3対3の同点のまま延長戦に突入しました。11回表、この回先頭打者の8番細野悠(3年)の当たりが内野安打となり出塁すると、9番打者のピッチャー米原が送りバントを決めてチャンスを広げ、続く1番打者山口駿(3年)の右中間を破る三塁打で生還し1点を取り、2番打者竹中裕貴(3年)が四球を選び一死一、三塁、ここで3番打者椎原峻(3年)が初球をスクイズ、三塁走者山口が生還して貴重な追加点を挙げました。その裏、ロングリリーフのピッチャー米原が踏ん張って無得点に抑え、結果5対3、「3度目の正直対決」を制して西東京大会初優勝を飾り、春夏通じて悲願の甲子園初出場を決めました。この大会においてチームは試合に勝つたびに成長し、準々決勝の早稲田実で勝利したことで勢いに乗り、持ち味の機動力と守備力、そして我慢する力を発揮させ、「ありんこ軍団」全員で頂点を極めました。最後まで試合を諦めずに粘り強く全力を出して戦った選手たちに大いに感謝するとともに、選手を支えてきていただいた多くの方々に感謝いたします。

7月28日の八王子市長表敬訪問や、8月1日の東京都庁表敬訪問、朝日新聞社優勝報告会などを経て、2日に甲子園へ出発しました。3日は当日の一番に割り当てられた甲子園練習の日であり、選手たちはまっさらな状態のグラウンドに足を踏み入れ、守備に重点をおいた練習に緊張した姿を見せることなく、はつらつとしたプレーをして気持ちのいい汗をかいていました。4日は対戦相手が決定する抽選会の日で、抽選の結果、甲子園は春5回夏8回目の出場となる宮崎県の代表校である日南学園高校が相手となり、大会第5日目の8月11日第1試合で対戦することに決まりました。6日は開会式リハーサル、そして7日、今大会の開会式が行われました。選手たちは声を出し、手を大きく振り、足をそろえて、西東京代表として堂々と行進しました。いっぽう、現地入りした翌日から試合前日までの間、初戦に備えて毎日2時間、割り当てられた練習場(高校グラウンド、民間の野球場など)でバッティング、守備、実戦形式の練習を繰り返し行いました。

8月11日、待ちに待った甲子園での初戦の日を迎えました。試合開始時間(9時30分)の2時間前に球場入りし、室内練習場でウォーミングアップ、8時30分攻守決定、9時からのシートノックを経て、9時30分試合開始。オレンジ色に染まったアルプススタンドを見て、思わず感動と興奮を覚え、また感謝の気持ちでいっぱいになりました。先発ピッチャー早乙女大輝(2年)は、1回表を三者凡退に抑えて上々のスタートを切りました。その裏、1番打者山口駿(3年)が四球を選んで出塁し、すかさず二塁へ走るがベース手前でタッチアウト。さらに3回裏一死から8番打者細野悠(3年)が、この試合のチーム初ヒットとなるセンター前ヒットで出塁し、次打者の送りバントが空振りとなってしまう、塁を

飛び出していた細野は一塁に戻り切れずにタッチアウト。西東京大会6試合で23盗塁の走力は、警戒する相手バッテリーに封じられ、ベンチ内に動揺が広がりました。ピッチャー早乙女は4回まで被安打3の無得点で相手打線を抑えてきましたが、5回表に連続ヒットを打たれて無死一、三塁とされ、次打者の併殺打の間に1点を先制されてしまいました。その裏、二死から四球とレフト前ヒットで、4回裏に続き2度目の一、二塁のチャンスを迎えました。しかし、この回もあとヒット1本が出ず、チャンスを生かせませんでした。6回表から、先発ピッチャーの早乙女に代わり米原大地(2年)がマウンドに登りました。この回先頭の1番打者に四球を与えると、次打者にレフト前ヒットを打たれ無死一、二塁のピンチに立たされました。米原は、甲子園のマウンドに立って緊張しているのか投球が高めに浮き、本来のスピードもキレもなく、西東京大会で好リリーフした時のピッチングではありませんでした。案の定、一死後4番打者にライト線へ二塁打を放たれて2点を失い、その後も相手打線につかまり3本のヒットと犠牲フライで3点を失いました。7回表にも二死から四球を与えて出塁を許し、次打者に右中間に二塁打を放たれて1点を失い、マウンドを奥村天(3年)に譲りました。その後奥村は、相手打線を被安打2無得点と抑えました。6回から8回まで三者凡退に抑えられていた打線が9回裏に意地を見せました。一死後、3番打者椎原峻(3年)が四球を選んで出塁すると、続く4番打者保條友義(3年)がライト前にヒットを打ち、一、三塁のチャンスを迎えました。次の打者は、8回表三塁手の小野田直道(3年)に代わって出場した加藤大翔(2年)、打った打球はショートゴロとなったが、一塁にヘッドスライディングしてセーフの判定。併殺を免れた。三塁走者椎原がホームインしてやっと1点を返しました。この1点は、甲子園でのチーム初得点であり、次につながる得点になることでしょう。結果、1対7で初戦敗退です。チームの持ち味である機動力を使うチャンスが作れませんでした。しかし、甲子園で大勢の人たちに応援してもらい、大好きな野球ができたことは選手たちにとってとてもいい経験になったと思います。

野球部は、今夏の甲子園出場の実験を糧にするとともに、初戦敗退の悔しさをバネにして、また次なる大きな目標を「甲子園1勝、校歌を歌う」と定めて今後も大いに活動していきます。

8月中旬、この目標の実現に向けて新チームが本格的に動き出し、自分たちの力が大いに発揮できるよう、日々努力を重ねております。部員数は、現役を退いた3年生23人を除いて、2年生24人、1年生26人、そして女子マネージャー3人の計53人です。

平成28年度の秋季東京都大会は、9月4日から一次予選が始まり、わが野球部は、一次予選を勝ち上がって2年ぶりの本大会出場を決めました。10月3日の抽選会を経て、8日から本大会が始まり、熱戦が繰り広げられます。自分たちも先輩たちに続いて甲子園に出場したいという2年生メンバーに、実力派ぞろいの1年生が加わった新チームが、これからの大会で躍動します。甲子園“1勝”をめざして、また、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉にして、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《戦績》

◇平成27年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第22ブロック 2回戦 27.9.13 於：八王子高校上柚木グラウンド

城 東	2 0 0 1 2 0 0 0 0	5	
八 王 子	0 1 0 0 2 0 0 0 0	3	[本大会出場ならず]

投手—捕手：早乙女(1年)，米原(1年)，奥村(2年)—細野(2年)

◇平成28年度 春季東京都高等学校野球大会 一次予選

第17ブロック 1回戦 28.3.19 於：八王子高校上柚木グラウンド

本 郷	0 1 0 0 0	1	
八 王 子	0 2 8 0 1×	11	(5回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)，奥村(3年)—細野(3年)

第17ブロック B代表決定戦 28.3.20 於：八王子高校上柚木グラウンド

清 瀬	0 1 0 0 0 0 0	1	
八 王 子	0 1 4 0 1 0 2×	8	(7回コールド) [本大会出場へ]

投手—捕手：村田(2年)—細野(3年)

◇平成28年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 28.4.2 於：八王子市民球場

八 王 子	5 1 4 2 1	13	
東京実業	0 0 1 0 2	3	(5回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)—細野(3年)

2回戦 28.4.5 於：八王子市民球場

堀 越	0 0 1 0 0 0 0 0 0	1	
八 王 子	0 0 4 0 0 0 1 0 ×	5	

投手—捕手：奥村(3年)，早乙女(2年)—細野(3年)

3回戦 28.4.8 於：八王子市民球場

明中八王子	0 0 1 0 0 0 0	1	
八 王 子	3 0 1 4 1 0 ×	9	(7回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)—細野(3年)

4回戦 28.4.10 於：八王子市民球場

聖パウロ	0 1 0 0 2 0 0 0 0	3	
八 王 子	0 0 0 0 0 2 0 0 2×	4	

投手—捕手：奥村(3年)，早乙女(2年)—細野(3年)

準々決勝 28.4.16 於：八王子市民球場

八王子	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
二松學舎大附	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	×	2	(延長10回)

投手—捕手：早乙女(2年)—細野(3年) [ベスト8]

◇第98回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

3回戦 28.7.13 於：ダイワハウススタジアム八王子

田無	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
八王子	3	0	0	3	1	0	0	1	×	8	(8回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)，米原(2年)—細野(3年)，野村(2年)

4回戦 28.7.16 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子	2	0	0	0	0	6	0	8	
町田	0	0	0	0	0	0	0	0	(7回コールド)

投手—捕手：奥村(3年)—細野(3年)

5回戦 28.7.18 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子	0	1	0	3	0	0	6	10	
明中八王子	0	0	0	0	0	0	1	1	(7回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)—細野(3年)

準々決勝 28.7.23 於：神宮球場

早稲田実	0	0	0	0	2	0	0	1	1	4
八王子	0	0	0	0	5	1	0	0	×	6

投手—捕手：早乙女(2年)，米原(2年)—細野(3年)

準決勝 28.7.25 於：神宮球場

創価	0	0	3	0	1	1	1	0	0	6
八王子	1	2	2	0	1	0	1	1	×	8

投手—捕手：早乙女(2年)，米原(2年)—細野(3年)

決勝 28.7.27 於：神宮球場

八王子	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	5	
東海大菅生	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	(延長11回)

投手—捕手：早乙女(2年)，米原(2年)—細野(3年)

[西東京大会初優勝，甲子園初出場]

[甲子園出場決定後の主な日程]

- ・7/27(水) 神宮球場から学校に戻り, 祝勝会(於:本校食堂)
- ・7/28(木) 八王子市長表敬訪問, 優勝報告
- ・8/1(月) 東京都庁表敬訪問, 朝日新聞社優勝報告会, 壮行会(於:本校講堂)
- ・8/2(火) 甲子園へ出発
- ・8/3(水) 甲子園球場練習 球場の雰囲気・感覚など体得する
- ・8/4(木) 抽選会 初戦は8/11 第1試合, 対戦相手は日南学園(宮崎)
- ・8/6(土) 開会式リハーサル
- ・8/7(日) 開会式 西東京代表として堂々で行進
- ・8/11(祝木) 甲子園初戦を迎える 日南学園(宮崎)と対戦し1対7で敗退
- ・8/12(金) 帰京, 学校へ戻る
- ・9/3(土) 報告会(於:本校食堂)

《戦績/甲子園》

◇第98回全国高等学校野球選手権大会

1回戦 28.8.11 於:甲子園球場

日南学園	0 0 0 0 1 5 1 0 0	7
八王子	0 0 0 0 0 0 0 0 1	1

投手—捕手:早乙女(2年), 米原(2年), 奥村(3年)—細野(3年)

《戦績/新チーム》

◇平成28年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第16ブロック 1回戦 28.9.10 於:八王子高校上柚木グラウンド

葛飾商	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
八王子	0 4 0 2 0 0 0 0 ×	6

投手—捕手:早乙女(2年)—渡部(2年), 野村(2年)

第16ブロック A代表決定戦 28.9.18 於:八王子高校上柚木グラウンド

八王子	0 2 0 0 0 0 1 0 1	4
小松川	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0

投手—捕手:早乙女(2年)—野村(2年)

[本大会出場へ]

八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>